

整理番号C-2704J 業務用アルコール製剤E5000
 アズワン株式会社

作成日： 2016年3月15日
 改訂日：

安全データシート(製品安全データシート)

【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名	業務用アルコール製剤E5000
会社名	アズワン株式会社
住所	〒550-8527 大阪市西区江戸堀2丁目1番27号
電話番号	0120-700-875
FAX番号	0120-700-763
担当部門	カスタマー相談センター
緊急連絡電話番号	0120-700-875

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：気体）	区分外
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分1A
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1A
授乳に対する影響	区分外
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（肝臓）、区分2（神経系）
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	区分外
水生環境有害性（慢性）	区分外

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：	感嘆符、健康有害性
注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	重篤な眼への刺激性、眠気またはめまいのおそれ、遺伝性疾患のおそれの疑い、生殖能または胎児への悪影響のおそれ、

長期または反復暴露による臓器の障害

注意書き

[安全対策] :

保護眼鏡を着用すること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

[応急措置] :

吸入した場合 :
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 暴露または暴露の懸念がある場合 :
 医師の診断/手当を受けること。
 気分が悪い時は医師の診断/手当を受けること。
 眼に入った場合 :
 水で数分間注意深く洗うこと。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

[保管] :

容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

[廃棄] :

内容物/容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

[危険性] :

引火しやすい液体。
 蒸気は空気と一定量混合すると爆発混合ガスとなる。

[有害性] :

比較的無害であるが、蒸気を大量に吸引すると麻酔剤として働き、繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、めまい、感覚鈍麻、頭痛などを起こすことがある。

【3. 組成、成分情報】

単一製品、混合物の区別

成分

混合物

エタノール	50.18% (容量 58.00%)
D L-リンゴ酸	0.35%
グリセリン脂肪酸エステル	0.30%
D L-リンゴ酸ナトリウム	0.06%
精製水	49.11%

【4. 応急措置】

眼に入った場合

直ちに清浄な水で最低15分以上洗浄した後、眼科医の手当を受ける。洗眼の際、瞼をよく指で開いて、眼球、瞼のすみずみまで水がよく行きわたるように洗う。

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
 呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

飲み込んだ場合
 体を毛布等でおおい保温して安静を保ち、直ちに医療処置を受ける。
 水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の清水を飲ませ希釈し、可能であれば指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医療処置を受ける。

【5. 火災時の措置】

消火方法
 初期消火には粉末、二酸化炭素消火器を用いる。大規模火災にはアルコフォームなどを用いて空気を遮断することが有効である。消火作業は風上から行ない、場合によっては呼吸保護具を使用する。
 周辺火災の場合には、周辺の設備などに散水して冷却する。移動可能な可燃物容器等は速やかに安全な場所に移す。

消火剤
 粉末、炭酸ガス、アルコフォーム、水スプレー。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項
 回収作業などに当たる者は、保護手袋など必要な保護具を着用する。

環境に対する注意事項
 浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。少量の場合は、こぼれた場所を速やかに多量の水で洗い流す。大量の場合には漏出液を密閉式の空容器にできるだけ回収し、回収できなかった場所は大量の水で洗い流す。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い
 みだりに火気その他着火源となる恐れのあるものに接近させ、若しくは注ぎ、蒸発させ、又は加熱しないこと。
 取り扱う設備のある場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの、又は酸化性のものをおかない。

保管
 火気その他危険な場所から遠ざけ通気をよくし、温度、湿度、射光に注意し、冷暗所に保管する。また、大量に保管する場合は、消防法上の貯蔵設備に準じた設備で行い、通気をよくし蒸気が滞留しないようにする。
 消防法の第1類及び第6類危険物との混合貯蔵を避ける。

【8. 暴露防止及び保護措置】

管理濃度
 管理濃度なし

許容濃度¹⁾
 ACGIH勧告値 TLV-TWA 1,000ppm(1880mg/m³)
 (エタノール分100%として)

設備対策
 噴霧する時は、吸引や引火を防止するためできるだけ広い場所で使用する。取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗浄剤のための設備を設ける。

保護具:	
呼吸器用保護具	有機溶剤用マスク
保護眼鏡	保護眼鏡または防災面
保護手袋	ゴム手袋
保護衣	ゴム長靴、ゴム前掛け

【9. 物理的及び化学的性質】

(エタノール分100%として)

外観	無色透明な液体
臭い	特有の芳香
融点	-114.5℃
引火点	13℃ (密閉)、18℃ (開放) [60w/w% : 22.6℃]
発火点	439℃
爆発限界	3.3~19.0v/v% (空气中)
沸点	78.32℃
蒸気圧	5878Pa (44.1mmHg) (20℃)
蒸気密度	1.59

(業務用 アルコール製剤として)

外観	無色透明液状
臭い	アルコールのにおいとほのかなシトラス香
pH	4.0±0.5 (原液、25℃)
溶解性	水と任意の割合で溶解
比重	0.920 (15℃、代表値として)

【10. 安定性及び反応性】

安定性	通常取り扱い条件においては安定。
-----	------------------

【11. 有害性情報】

(エタノール分100%として)

刺激性	皮膚	ラビット	400mg	開放	症状 (軽度)
	皮膚	ラビット	500mg/24h		症状 (重度)
	眼	ラビット	100mg/24h		症状 (中度)
変異原性	小核	マウス (腹腔)	1,240 mg/kg·48h		
生殖能	吸入	ラット	TCL ₀	20,000 ppm/7h、妊娠、1~22日発育異常	
	経口	ラット	TDL ₀	44 g/kg、妊娠、7~17日発育異常	
急性毒性	吸入	ラット	LC ₅₀	20,000 ppm/10h	
	経口	ヒト	TDL ₀	1,400 mg/kg	
	経口	ヒト (男)	TDL ₀	700 mg/kg	
	経口	ラット	LD ₅₀	7,060 mg/kg	
	注射	ラット	LD ₅₀	1,440 mg/kg	
注射	犬	LDL ₀	1,600 mg/kg		

癌原性	腹腔 哺乳類	LD ₅₀	4,300 mg/kg
	経口 マウス	TDL ₀	320 mg/kg/50週

【12. 環境影響情報】

(エタノール分100%として)

水中生物への影響	マスの幼魚	LC ₅₀	11.2 g/L・24h
	コイの一種	LC ₅₀	18~13.4 g/L・96h
	クレークチャブ	LC ₅₀	7 g/L・24h
	グッピー	LC ₅₀	11 g/L・7日

【13. 廃棄上の注意】

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意による。
水質汚濁防止法の排出基準に従うこと。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

国連番号	1170
国連分類	3 (引火性液体類)
容器等級	III
海上規制情報	IMOの規定に従う。
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。

国内規制

陸上規制情報	道路法・毒劇法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
安全対策	容器が破損しないように、乱暴な取扱いを避ける。 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法による 第1類及び第6類の危険物と混載を避ける。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法第57条の2第1項の政令で定めるもの

エタノール 50.18%

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの

なし

食品衛生法

食品添加物

労働安全衛生法

57条の2 通知対象物質

労働安全衛生法施行令

別表第1危険物4 引火性の物

危険物船舶運送及び貯蔵規則

引火性液体類 中引火点引火性液体

【16. その他】

参考文献	アルコールハンドブック 9 版 技報堂出版 (1997年)
記載内容の問い合わせ先	
会社名	アズワン株式会社
住所	〒550-8527 大阪市西区江戸堀2丁目1番27号
担当部門	カスタマー相談センター
電話番号	0120-700-875
FAX番号	0120-700-763

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
また、記載事項は通常の実験を前提としたものであるため、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。